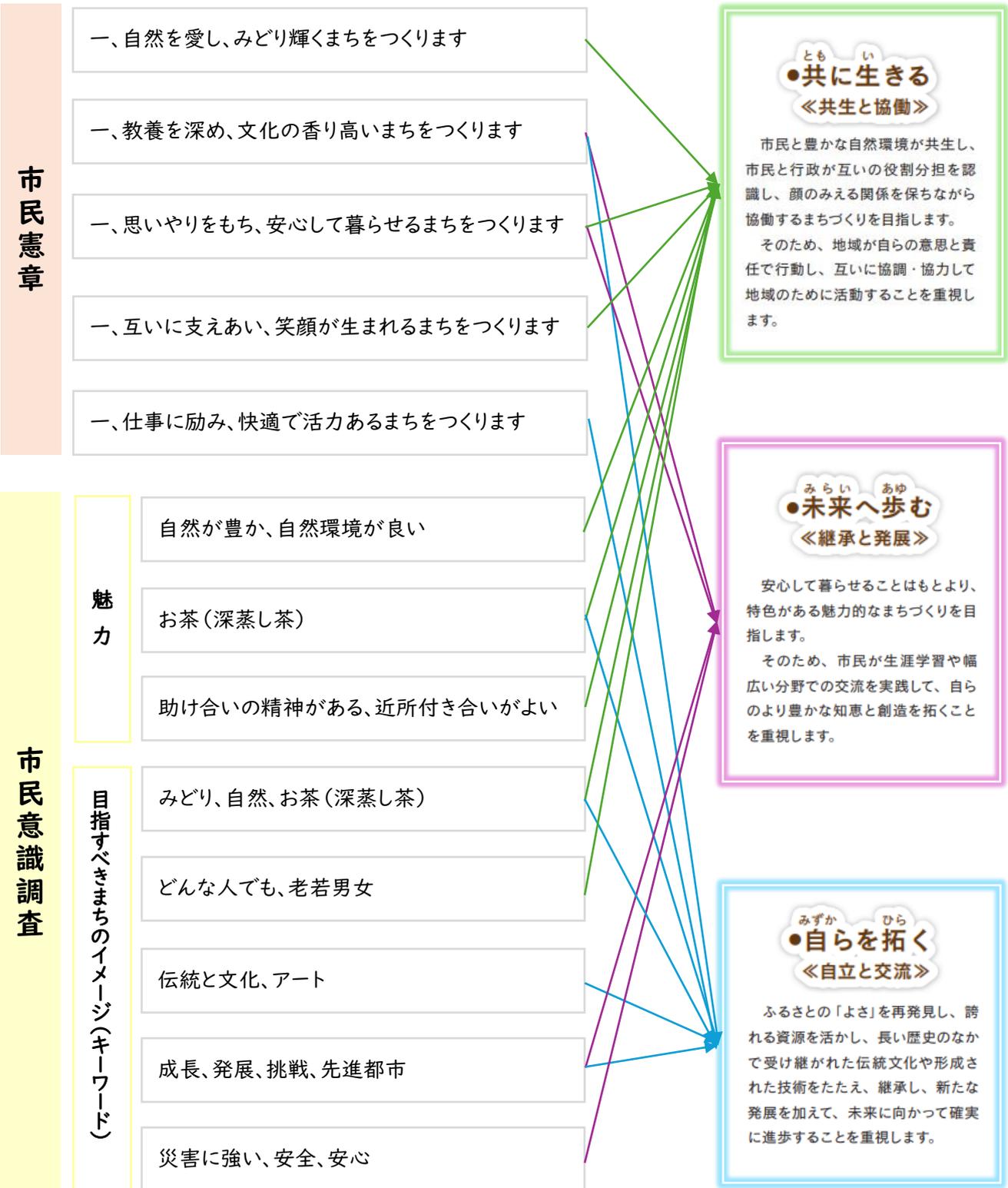


# 第3次菊川市総合計画基本構想の方向性について

## 1. 基本理念案

・平成18年に制定された「菊川市市民憲章」で掲げられている条文や「市民意識調査」で回答あった魅力や目指すべきまちのイメージをもとに、合併時の「小笠町・菊川町新市将来構想」で掲げたまちづくりの理念を継承していきます。



## 2. 将来像案

・「市民意識調査」の魅力や目指すべきまちのイメージや社会情勢を踏まえ将来像「みどり きらめく 持続可能なまち 菊川市」としました。

### 第1次菊川市総合計画

#### みどり 次世代

#### ～人と緑・産業が未来を育むまち～

菊川市は、豊かな自然に恵まれています。鮮やかな緑に包まれたこの地域で、豊かな感性に恵まれた人づくりと、緑を大切に地球環境づくりに取り組み、温かな心をもつ市民が平和な暮らしを続け、いきいきとした笑顔と活力が生まれる都市を次の世代に継承することを目指しています。

### 第2次菊川市総合計画

#### みどり ときめき たしかな未来 菊川市

**みどり**：多くの市民が本市の魅力と感じている、あふれる自然など次世代に引き継ぐべきふるさとの素晴らしい環境をイメージしています。

**ときめき**：市民一人ひとりが未来へ希望を持ちながら、豊かにいきいきと人生を送ることができ、活発で活力ある人々の心躍る様子をイメージしています。

**たしかな未来**：素晴らしい環境のなかで、本市がこれからも、安定的に活力があるまちづくりを続け、未来へ繋げていくことをイメージしています。

### 第3次菊川市総合計画

#### みどり きらめく 持続可能なまち 菊川市

**みどり**：市民憲章や第1.2次菊川市総合計画で用いている菊川市を表す単語として最も市民に馴染みがあり、今回実施した市民意識調査においても「自然環境がよい」との意見が多かったことや菊川市の魅力として「お茶（深蒸し茶）」が多く挙げられており、次世代に引き継ぐべき素晴らしい環境・名産品をイメージしています。

**きらめく**：近年、性別・年齢・国籍などの「属性」や価値観やライフスタイルなどの「思考」の多様性が重要視されています。菊川市では外国人が全市民の約8%を占めており、市民意識調査において目指すべきまちのイメージとして「自分らしく」「個人を尊重」等の意見がありました。そのため、市民一人ひとりがそれぞれの価値観でそれぞれのひかり方で輝き、いきいきと人生を送ることができ、活気ある様子をイメージしています。

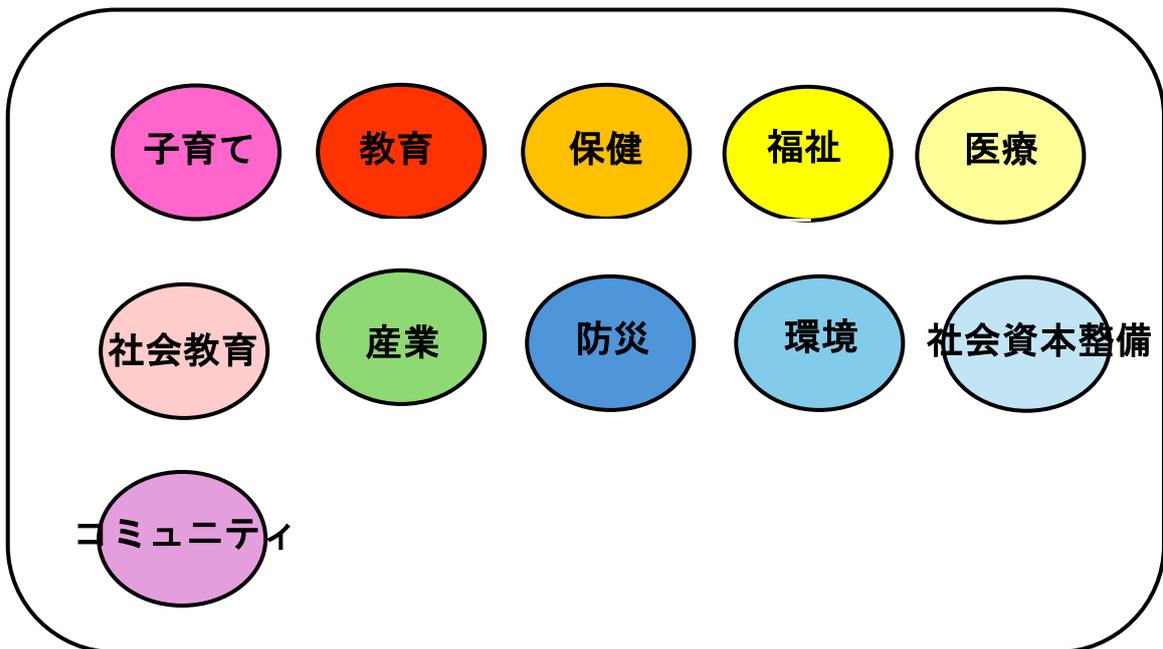
**持続可能なまち**：今後も人口減少・少子高齢化が続いていくと想定され、これに伴い市の活力は停滞することが予想されます。そのため、将来にわたって持続的・永続的に活力あるまちを目指していくことをイメージしています。

### 3. 基本目標案

#### ■基本構想の方向性（視点）

- ・市の現状、市民意向、社会情勢や前回計画の評価をもとに、第3次菊川市総合計画において強化すべき視点を抽出し、それらの視点をもとに基本目標を強化します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年以降は年々減少し、<b>10年後には約1,000人減少する</b></li> <li>・幼年人口は年々減少している一方で、老年人口は年々増加しており、少子高齢化が進行</li> <li>・<b>類似団体と比べ外国人人口比率が高い</b></li> <li>・第1.2次産業の就業者は減少しているが、第3次産業の就業者が増加</li> <li>・市内で<b>洪水や土砂災害など様々な災害リスクを有する</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境がよく住みやすい(7割以上)</li> <li>・公共交通、買い物の利便性に不満</li> <li>・<b>防犯対策が整っていない(中高生)</b></li> <li>・市政やまちづくりに参加したい(5割以上)</li> <li>・<b>人口減少対策として子育てできる環境の整備や医療福祉サービスの充実</b>。また、デジタルを活用するとしたら、市役所の手続きや医療・福祉サービスのオンライン化を望む意見が多い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類感染症に分類されたことによるポストコロナへの移行</li> <li>・IoTやAI、次世代通信といった<b>デジタル技術の進展</b></li> <li>・2030年までの目標達成に向けた<b>SDGsへの取り組みの拡大</b></li> <li>・<b>多様性を認め合う社会</b></li> <li>・2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けた<b>脱炭素社会に向けた取り組みの加速</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産・育児まで切れ目のない子育て支援</li> <li>・市民の健康維持と地域共生社会の実現</li> <li>・茶経営体の強化と消費拡大・販路拡大</li> <li>・防災対策の強靱化</li> <li>・利便性の高いまちになるインフラ整備</li> <li>・環境施策の一層の推進</li> <li>・<b>ICTを活用した市民の利便性向上及び効率化</b></li> <li>・<b>多様化する市民ニーズへの対応</b></li> </ul>



#### 4. 基本構想の体系案

